

市長メッセージⅪ

段階的制限緩和の進展と全国的患者増加の新局面における留意事項

～大雨にも注意を！

市民の皆さま、事業者の皆さまには、新型コロナウイルスの感染防止と社会経済活動の段階的な回復に日々ご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。とりわけ、医療の最前線で献身的に従事されている医療・保健関係者の皆さまに、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

緊急事態宣言解除から新しい生活様式が社会経済全体に定着するまでの移行期間が、7月10日から第3段階を迎えました。様々な制限の段階的緩和が、政府の予定どおり進んでいる状況にあります。

一方、新型コロナウイルス感染症の新規患者数は、東京都において連日過去最多を更新するなど、全国的に増加しています。本市では、6月19日以降、新規患者は確認されてはいませんが、感染が再び拡大する可能性があることを十分認識しなければなりません。

今後とも、「新しい生活様式」の一層の定着を図りながら、気を緩めることなく感染防止に努めるとともに、過剰に萎縮することなく段階的に活動の範囲を広げ、社会経済活動の回復を図って参りたいと存じます。

市民の皆さま、事業者の皆さまには、以下の点について、特に留意いただきますようお願いいたします。

- ① 発熱等の症状のある方は、都道府県を跨ぐ移動はもとより、外出自体控えるようお願いします。同様に、発熱等の症状のある県外の方にも、県内への移動を見送るよう働きかけて下さい。
- ② 感染者が増加している東京都では、特定の地区、特定の業種において感染が多発しています。県外に移動する場合には、こうした移動先の感染状況を十分に確認し、3密となるような場所や感染防止対策が徹底されていない施設等はできるだけ避ける、マスク着用等の感染防止対策を徹底するなど、より一層の慎重な行動をお願いします。
- ③ 相対的に感染リスクの高い地域に移動する場合や、そうした地域から家族等が訪れる場合等には、移動後2週間の行動歴を記録するなど、感染拡大防止にご協力をお願いいたします。
- ④ 発熱や咳などの症状があり不安がある方は、早めに帰国者・接触者相談センター（0120-567-747）にご相談下さい。
- ⑤ 新しい生活様式の導入・定着への取組をお願いします。3密を避ける、マスクを着用する、人と人との距離をとった対策を励行するとともに、オンライン会議、電子決済などICTの活用を進めましょう。事業者の皆さまには、新しい生活様式の導入に対する国・市の支援制度がありますので、ご活用ください。
- ⑥ スマートフォンをお持ちの方には、ぜひ政府提供の接触確認アプリ「COCOA」の導入を検討してください。多くの方に導入いただくことで、濃厚接触の確認がより円滑になります。
- ⑦ これからの季節は、熱中症対策も大切です。屋外で人と人との距離をとることができる場合はマスクを外すなどの工夫をしながら、新しい生活様式との両立を図ってください。
- ⑧ イベント等の開催については、参加人数が屋内・屋外とも5000人以下で可能となります。開催に当たっては、屋内では収容定員の半分以下の人数とするなど、距離を十分確保して下さい。

い。

主催者は、感染者が発生した場合に備え、参加者の連絡先の登録を求め、接触確認アプリ「COCOA」の活用を促すなど、感染拡大の防止にご協力をお願いします。

なお、イベント等の開催については、商店街等が開催するイベント等への支援のほか、市民が実施する様々な行事への民間施設の会場使用料補助や市施設使用料の減免も設けておりますので、ご活用下さい。

- ⑨ 市民1人につき1万円で1万3千円分のクーポンを購入できる「ふくしま市民生活エールクーポン」が、7月17日より、別途送付する引換券との引換で可能となります。様々な分野の1500以上の店舗等でエールクーポンの利用が可能です。エールクーポン商戦を盛り上げてまいりますので、市民の皆さまには、ぜひ引換購入、ご利用をお願いします。
- ⑩ 県による宿泊割引に続き、国の「GO TO トラベルキャンペーン」が7月22日から実施されます。「古閑裕而」や連続テレビ小説「エール」に関連する来訪者が非常に増えてきています。市としては、感染防止対策を十分に講じながら、観光対応をしてまいります。市民の皆さまには、身近なところから買い物やサービスの利用、観光を楽しんでいただくとともに、事業者の皆さまには、需要増加に積極的な対応をお願いします。
- ⑪ 九州地方など広い範囲で大雨による災害が発生しています。亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

福島市も、昨年に続き再び大雨災害に見舞われることを想定しなければなりません。これまで以上に避難所における感染防止対策に留意し、分散避難を進める必要があります。市民の皆さまには、ハザードマップ等により自宅の浸水可能性を確認の上、「安全な自宅に留まる」「安全な親戚・知人宅に避難する」「避難所に避難する」などどのような避難行動をとるか、家族間で具体的に検討し共有するようお願いいたします。

今後の気象情報、避難情報にも十分ご注意下さい。

新型コロナウイルスとの闘いは、長期戦を覚悟しなければなりません。新型コロナウイルスが共存する環境の中で、市民の皆さま、事業者の皆さまとともに、「新しい生活様式」の定着を図り、感染防止と社会経済活動の両立を図っていきたいと思います。

感染症の患者さんやご家族、医療関係者等への偏見・差別、誹謗・中傷は、人を傷つけ、地域の分断も招きます。決して行わないよう、強くお願いいたします。

力を合わせて、この難局を乗り越え、新型コロナウイルスへの抵抗力の強い新しい社会を築いていきましょう！

令和2年7月10日

福島市長 木幡 浩